

なぜこの  
ドキュメンタリーは  
面白いのか？



FESTIVAL DE CANNES  
COMPETITION  
2023 OFFICIAL SELECTION

2023年 金馬獎 最優秀ドキュメンタリー賞  
2023年 カンヌ国際映画祭 コンペティション部門正式出品  
2023年 ロサンゼルス映画批評家協会 エクスプレメンタル賞

巨匠ワン・ビン初の青春映画

WANG BING

YOUTH  
Spring

4/20(土) - 5/24(金)

シアター・イメージフォーラム

原題・青春春 | 英語題・YOUTH (SPRING) | 2023年 | フランス・ルクセンブルク・オランダ | 215分

『青春』公開記念 | ワン・ビン傑作選 + トークショー開催!

TALK SHOW

4/21 SUN

13:00 『青春』上映後 &  
17:00 『苦い銭』上映前解説

前田佳孝さん

(『青春』『苦い銭』撮影)

ワン・ビンの  
現場について

TALK SHOW

5/5 SUN

13:00 『青春』上映後 &  
17:00 『鳳鳴』上映前解説

土屋昌明さん

(専修大学教授 / 中国文学・思想史)

「ドキュメンタリー作家 王兵  
現代中国の叛史」  
編著者に聞く

TALK SHOW

5/11 SAT

17:00 『青春』上映後

市山尚三さん

(東京国際映画祭プログラミング・ディレクター)

ワン・ビンの映画は  
なぜ中国映画ではないのか





映画はしばしば、大海から二匹の魚を釣り上げるように、一人の個人を選び、英雄に仕立て上げます。  
私はそれを好みません。  
全ての登場人物たちが日常生活という海の中で一緒に泳いでいるのを眺めるのが好きです。

ワン・ピン 王兵 ●監督

生命力に溢れた傑作。  
昨今の3時間超の長尺映画のうち、最もあっという間に終わってしまう作品だろう。

Lisa Wong Macabasco ●Vogue

ファスト・ファッションを着ている皆さん！  
まあヴェンダースもいいかもだけど、  
こっちのワン・ピン監督の映画をぜひ観てください！！  
マスト・シーなんです！

ホンマタカシ ●写真家

本作のカメラは現実の過酷さ、とりわけ拘束状態のやるせなさからけて目を逸らさない。しかしそれゆえにこそ、あらゆる拘束と拮抗し、突きあらば噴出しようとする若さのエネルギーがいきいきと表現される。

三浦哲哉 ●映画批評家

暮しの手帖29号「三浦哲哉 映画のアン／ラーニング」より抜粋

ドキュメンタリー(とは言えども)、フィクションであるという考え方は理論が、かなり浸透してきたが、このワン・ピン監督『青春』は見事に、その理論を実証的に描いた傑作である。どうしたことか？ 現実の中国社会は、強大な国家共同体のシステムに組み込まれた民衆にとって自由など見えない夢また夢。ワン・ピン監督はこれまで、同胞たちが、システムの中でもがき苦しんでいる姿を撮り続けてきた。が、そんな民衆たちがいつの日にか楔から解放されて自由に生きる日を夢見続けてきたに違いないのだ。この『青春』は、そんなワン・ピンにとって、自由闊達に生きる民衆たち、というイメージを現実の民衆、若者たちにカメラを向けながら、ドキュメンタリーの手法を用いて描き出した奇跡のようなフィクションなのである。

原一男 ●映画監督

中国の変わりぬ青年群像を描き切る王兵の手法は『水滸伝』のようだ。かつて目睹した青年たちを想起させられた。スマホがあるのは変わったが、彼らはやはり彼らであり、明日の中国もそこから生じるだろう。

土屋昌明 ●専修大学教授 / 中国文学・思想史

若者たちのごくありふれた日常が続く中、カメラは時に幾つかの決定的な瞬間をとらえる。被写体がカメラを全く意識していないかのようなこれらの瞬間が眼前に展開する様は奇跡というしかない。現在、このような映画を撮ることができるのは世界にワン・ピンしかいないことを改めて認識させてくれる傑作だ。

市山尚三 ●東京国際映画祭プログラミング・ディレクター

まるで踊るようにミシンで生地を手際よく縫いながら親密にじゃれ合う男女。工場化された町に閉じ込められ巨大な資本に青春を捧げる出稼ぎ労働者の日常を王兵が至近距離で撮り切った。まさに王兵ワールドの新境地を開いた会心作だ。

晏妮 ●映画学者 / 日中比較映画史

## 青春

2023年 | 215分 | 配給: ムヴィオラ

大河・長江の下流一帯に広がる長江デルタ地域の街・織里。世界の衣料品工場であるその場所で朝から深夜までミシンをかけ続ける若者たちの日々を記録し、やがて中国に生きる一つの世代全体の運命を浮かび上げられる。9つのエピソードによって構成され、長さを感じさせない。巨匠ワン・ピン初の青春映画。

4/20(土) 連日 13:00  
5/24(金) 17:00

一般2,000円 | 学生・シニア1,300円  
会員1,200円 | 高校生・中学生1,200円  
\*「ワン・ピン傑作選」のため上映のない日時がありますのでご注意ください

# WANG BING

同時開催  
ワン・ピン傑作選

被写体の行動を左右しない距離。じっと注意深く見つめる視線。  
不可視の人びとに共感を寄せながら、歴史として記録するカメラの奇跡を、その代表作でたどる。



4/28(日) 13:00—  
上映時間 9時間5分  
途中2回の休憩あり

鉄西区 [1999-2003]  
廃れゆく工場地域・鉄西区を記録し、ワン・ピンの名前を世界に轟かせた伝説的作品。山形国際ドキュメンタリー映画祭大賞受賞。



5/5(日) 17:00—  
上映時間 3時間3分

鳳鳴 中国の記憶 [2007]  
反右派闘争で夫を亡くした女性・鳳鳴が詳細な記憶でカメラに語り続ける現代中国史。山形国際ドキュメンタリー映画祭大賞受賞。



5/19(日) 17:00—  
上映時間 3時間57分

收容病棟 [2013]  
雲南省の精神病院を記録。カメラは異常／正常の境を消し、患者たちの愛と孤独が画面を満たす。ナント三大陸映画祭銀の気球賞受賞。



4/21(日) 17:00—  
上映時間 2時間43分

苦い銭 [2016]  
『青春』から生まれたスピノフ。1元の金に一喜一憂する出稼ぎ労働者たちの記録。ドキュメンタリーなのにベネチア国際映画祭脚本賞受賞。



5/12(日) 13:00—  
上映時間 8時間28分  
途中2回の休憩あり

死靈魂 [2018]  
反右派闘争を記録し続けるワン・ピン版『ショア』と言うべき集大成。山形国際ドキュメンタリー映画祭大賞&観客賞受賞。

[シアター]  
**イメージフォーラム**  
03(5766)0114  
http://www.imageforum.co.jp  
[全席指定席・オンライン予約有]

「ワン・ピン傑作選」は料金が異なります。劇場HPでご確認ください